



Sustainable Sweden Tour 2004 「持続可能なスウェーデン・ツアー 2004」

2004年5月22日(土)～5月29日(土)

主催：持続可能なスウェーデン協会 (Sustainable Sweden Association)

(04年2月7日現在)

- 5月22日(土) ストックホルム (Stockholm)**
各自日本出発/ストックホルム到着
(スカンジナビア航空の場合：22日 11:45 東京発、同日 18:10 ストックホルム着)
- 5月23日(日) ストックホルム (Stockholm) / ウーメオ (Umeå)**
ストックホルム市内観光案内 / 飛行機でウーメオ (Umeå) 市へ
持続可能な開発に取り組んでいる主催者の紹介
主催者とその関係者と交流・夕食
- 5月24日(月) ウーメオ (Umeå)**
国立生態学的持続可能性インスティテュート (IEH) :
国レベルの環境政策入門 (廃棄物政策を含む)
エ・サム社：包括的な見方とシステム思考
アンダーシュ・ニークビスト (Mr. Anders Nyqvist) 建築家：
乗用車利用者のための循環型地区グリーンゾーン (GreenZone)
- 5月25日(火) ウーメオ (Umeå) / ローバツフォッシュ (Robertsfors)**
バイオアルコール財団 (BAFF) : 木質バイオマスからつくる将来の車燃料とバイオ燃料地域
持続可能な開発における企業の役割、企業の環境監理制度、グループ型環境認証取得、企業訪問
自然体験と農場宿泊 (ローバツフォッシュ)
- 5月26日(水) ローバツフォッシュ (Robertsfors)**
エサ・ム社：スウェーデンの学校教育、学校庁の「環境学校」認証制度
トルビョーン・ラーティ (Torbjörn Lahti) 氏、プロジェクト・リーダー：
「持続可能なローバツフォッシュ (Robertsfors) ・プロジェクト」
小学校訪問、再生可能なエネルギーである木質ペレット工場見学
ルーレオ (Luleå) の「教会村」(世界遺産) で夕食、健康施設で宿泊
- 5月27日(木) オーベルトーネオ (Övertorneå) / 北極圏**
スウェーデン初のエコ自治体オーベルトーネオ (Övertorneå)、その歴史と将来
高等学校訪問、学校食堂で昼食、生徒との交流
カーリクス自治体のIT民主主義と持続可能な村開発プロジェクト
- 5月28日(金) カーリクス (Kalix)**
地球環境問題を解決するための地域での取り組み、民主主義と社会参画
企業活動を中心にした持続可能な村開発
地域の文化と文化的持続可能性、地域住民主導の資源管理
- 5月29日(土) ルーレオ (Luleå) / ストックホルム (Stockholm)**
飛行機でストックホルムへ (SK005 : 9:30 ルーレオ発、10:50 ストックホルム着) / 各自帰国
(スカンジナビア航空で直接乗り換える場合は30日(日) 9:35 東京着になります。)



主催：持続可能なスウェーデン協会

企画：エーサム (ESAM) 社 + レーナ・リンダル

アレンジ：エーサム (ESAM) 社+現地旅行会社

協力：スカンジナビア政府観光局

言語：日本語

通訳：レーナ・リンダル

集合・解散場所：ストックホルム (Stockholm) 市

募集人員：15名

参加費：25,000 スウェーデンクローネ

(2月7日現在は約36万6,000円)

参加申込み期限：

2004年3月10日までにご連絡ください

日本語のご問い合わせ先：VZQ11450@nifty.ne.jp

ファックス：045-595-3586 (レーナ・リンダル宛)

ホームページにより明細な案内を掲載しています：

<http://www.netjoy.ne.jp/~lena/>